



イラスト・題字：長峯亜里

大谷翔平選手は話題提供に事欠かない。野球の世界では新記録を打ち立て続けているが、アメリカの歴史をつくった人物としても名を残すことになった。

記念すべきユニフォーム寄付

国立アメリカ歴史博物館は9月3日に新規寄付を発表した。悲劇の客船タイタニック号の乗客ジョージ・ハントの手紙や家族写真、自動車などを破砕することでリサイクリングを可能にしたプロレライザー、初期のコンピューターシステムともいえるフィンデックスなどと共に大谷翔平選手のユニフォームが含まれていた。

このユニフォームはエンジェルス時代の昨年7月27日、敵地デトロイトで行われたタイガースとのダブルヘッダーで着用していたユニフォームだ。この日、大谷選手は第1試合で先発して自身初となる完封勝利をあげ、45分後に始まった第2試合には指名打者として出場し2打席連続ホームランを打つ離れ業をやっていた。

国立アメリカ歴史博物館にユニフォームが展示されるのはどれだけすごいことなのだろう。

国立アメリカ歴史博物館はスミソニアン・インスティテューションという1846年に創設された博物館群や研究所の複合体の一部である。21

の博物館(うち2つは建設中)や美術館、21の図書館、動物園、複数の調査研究・教育機関が含まれ、歴史、文化、芸術、自然、科学技術にまつわる1億5500万点以上の品々が貯蔵・展示されている。

スミソニアン・インスティテューション最古の建造物ザ・キャッスル(城)をはじめ大半が議事堂とワシントン大統領の記念塔の間のナショナル・モールにある。中でも有名なのが国立航空宇宙博物館や国立自然史博物館だろう。



スミソニアンの本部で一番古い建造物であるザ・キャッスル

国立航空宇宙博物館には初の有人月面着陸に成功したアポロ11号の司令船、ライト兄弟のライトフライヤー号、ゼロ戦も展示されている。

国立自然史博物館には恐竜や化石、巨大なアフリカ象などの剥製、昆虫や鉱物、そしてホープダイヤモンドやマリー・アントワネットのイヤリングといった宝石など、46億年の地球の自然史を伝える1億2500万点以上、スミソニア